

チーム名	蔵するーむ	大学・学部	東京国際大学	焼津ステージ
プラン名称	ととのいました!地球の恵みに“おんれい”温泉「れつつ 足風呂(ふっとばす)」			
リーダー名	齊藤 怜	テーマ	「焼津温泉」を活かした焼津市の「持続可能な観光まちづくり」	事務局記入欄
指導教職員名	久野道広			
メンバー名	百瀬航希 岩元康浩 砂川咲季 日高健達			


**焼津市の現状、課題**

- 湯量豊富な温泉  
「焼津温泉」(1日700トン)
- 魚介類とともに海からの恵みの宝庫「駿河湾深層水」も

↓  
しかし・・・

- 1日300トンの温泉が廃棄
- 駿河湾深層水の認知度が低い
- 地元住民が焼津温泉のことを知らない(焼津温泉の知識や現状を知らず、温泉総選挙の功績も知らない)。

**提案背景**



「温冷」2つの焼津の恵みがある焼津で「御礼(おんれい)」の意をこめた観光まちづくりプランを提案致します!

◎2種類のお風呂に浸かることの効果

- ・新陳代謝の向上
- ・疲労回復やリラックス効果、美容効果

→お湯、水の2種類のお風呂を使用することによりその温度差で多くの効果を得る

★これを足湯で行うことで全身浴に比べ手軽に効果を得ることが出来る

- ターゲット**
- ・焼津市民(全世帯)
  - ・首都圏・名古屋圏からの若者

- プロモーション方法**
- ・「足風呂」を首都圏・名古屋圏のメディアを使い、大々的にアピール。
  - ・SNSの更新もこまめに行う。

~ととのいました!地球の恵みに“おんれい”温泉~  
ふっとばす

**『れつつ足風呂』!!**

焼津廃棄温泉足湯 + 駿河湾深層水風呂

「焼津廃棄温泉足湯」の隣には必ず「駿河湾深層水風呂」もあり、「温」⇄「冷」で、足から手軽に **ととのえる!**

豊富な湯量を活かし、市内各所に温冷2種の足湯タンクを設置

タンク付近に専用のベンチを設置し、タンクから好きな足風呂を選び、好きな場所で足風呂を体験

**廃棄温泉と深層水をキラーコンテンツとして、持続可能な観光まちづくりを目指していく**

ふっとばす  
~足風呂の発展案~

**プロモーションイベント①「ふっとばすタンク」**

市内各所(公園・商店街)に温冷2種の足湯タンクを設置  
タンク付近に専用のベンチを設置し、タンクから好きな足風呂を選び、好きな場所で足風呂を体験

他にもこのようなことを行います!

オリジナルグッズの製作・販売  
・疲れ足風呂(ふっとばす)  
→これらを行うことでより親近感を持って足風呂(ふっとばす)に参加してもらおうと同時に、地元住民が観光客を足風呂(ふっとばす)によって受け入れる体制を確立させることが出来る。

**プロモーションイベント②「マイ桶コンテスト」**

★『マイ桶大賞』  
→#まいふっとばすにて、自身でデザインした木桶を、インスタグラム等のSNSで焼津のお気に入りの風景とともに写真撮影・投稿。受賞された「マイ桶」のデザインは商店街にて販売。

また、衣類やマスクを着用したまま「ながら入浴」ができることが大きな特徴。

**実現計画** 将来的な「足風呂ロード」の完成  
~5つのととのえる!~

- 1.地域の資源を「温泉」「水風呂」へ **ととのえる!**  
(足風呂のシステムとなる)
- 2.足風呂のプロモーションツールを **ととのえる!**  
(足風呂グッズの制作・販売、全員参加型の企画)
- 3.市内各所に足風呂を **ととのえる!**
- 4.宿泊施設にて「ナイト足風呂イベント」も開催し、焼津での宿泊をいただける仕組みを **ととのえる!**  
(観光客向けに足風呂を推進)
- 5.街中が足風呂であふれる理想形「足風呂ロード」の完成で、足湯健康のまちストーリーを **ととのえる!**

	経済効果	社会効果
焼津市	交流人口年間50万人増加 「足湯健康のまち」への移住者年間500人増加	廃棄される温足風呂に活用することにより、SDGsも視野に入れた観光まちづくり
地元住民	観光関連事業者への経済波及効果	地元住民の交流の場となり、焼津の資源の良さを実感・共有してもらえる場づくり
観光客	//	日本初の「足風呂」という試みて話題づくり

- 将来ビジョン**
- ・足風呂=焼津のブランド化
  - ・インナーマーケティングも考慮した健康都市宣言
  - ・観光客から移住民への変化

- 実施体制**
- ・足湯健康のまちDMO組織の設立・事業推進
  - ・おかえり焼津事務局発足 → 地元での働き甲斐を実感